

企業研修の報告

2025年7月23日(水)、経済学・経営学メジャー所属の2年次生は、メジャー基礎ゼミナールⅡの授業の一環として、企業研修に出掛けました。当日は猛暑となりましたが、無事に株式会社ナジコ製作所、かみね動物園、日立市役所に足を運ぶことができました。

さて、経済学・経営学メジャー2年次生が参加するこの行事は、すでに12年目を迎えます。新型コロナウイルス禍が明けた3年前より、5年ぶりに大型バス1台と本学バス1台を借り上げ一堂に会した研修を再開し、今年度も昨年度同様バス2台による全体研修を実施しました。

最初に訪問した株式会社ナジコ製作所では、冒頭に株式会社ナジコならびに株式会社ナジコ製作所のご紹介があり、その後4班に分かれて敷地内の工場建屋内を見学しました。工場では同社の主力製品のユニバーサルジョイントやラジエーターなどの製造工程を間近に見ることができました。同社では大小さまざまな製品の製造を手掛けており、とりわけ巨大なユニバーサルジョイントは迫力満点で学生らは感銘を受けるとともに、同社が支える社会インフラの重要性を強く認識した様子でした。



午後は日立市に移動し、まずかみね動物園へ行きました。同園は日立市直営で運営されており、中国からのジャイアントパンダ誘致に向けた動静など、県や市の意向を踏まえたダイナミックな展開について理解を深めました。照りつける日差しの中でしたが、学生らは思い思いに園内を散策し、童心に帰るひとときを過ごしていました。続いて、バスで15分ほどのところにある日立市役所を訪れました。日立市役所では日立市の職員から、人口減少に悩む日立

市が駅前のイトーヨーカドーの撤退を機に良品計画の誘致を皮切りとして、子どもの遊び場としてボーネルンドや食品スーパーのコープなどを誘致していったこれまでの数々の挑戦が語られ、学生はもちろん教員も食い入るように聞き入っていました。

学生にとっては、企業活動の実際を知る貴重な場となりました。何より本学、そして、経済学・経営学メジャーの学生であるという帰属意識を感じる貴重な行事です。当日は天候にも恵まれ、学生の前向きな姿勢も加わり素晴らしい行事となりました。これも、後援会皆さまによるご支援の賜物です。末筆ではございますが、皆様のご支援に心よりお礼申し上げます。



2025年7月24日 太田 啓文